

未来につなぐ産業拠点 - 福岡工業団地の今 -

問 谷和原庁舎プロジェクト推進課
☎58 - 2111 (内線5502)

予定の常磐自動車道（仮称）つくばみらいスマートIC」までは約8分という道路ネットワークが形成されます。さらに、都心と40分で結ばれるTXのみらい平駅には4キロと、好立地の産業拠点となっています。

現在、2020年9月の造成工事竣工に向け、順調に工事が進んでいます。併せて、市では、業務代行者が行う企業誘致活動をサポートし、優良企業の立地促進を積極的に進め、地元経済の活性化と雇用機会の拡大を図っていきます。

この事業は地域の活性化や産業振興を目指し、首都圏中央連絡自動車道（以下、圏央道という）の開通やつくばエクスプレス沿線開発を契機とする新たな産業拠点の形成を目的としています。

福岡工業団地地区は、東京から40キロ圏に位置し、同エリア西側の広域幹線道路（都市計画道路東橋戸・台線）により、圏央道や常磐自動車道へのアクセスが非常に優れており、圏央道常総ICまで約22分、常磐自動車道谷田部ICまで約17分、谷和原ICまで約16分の位置にあります。

また、令和6年3月供用開始



◀現在造成工事中の福岡工業団地地区（赤点線内）



お知らせ
問 正しい運転、録画映像で再確認
伊奈庁舎防災課
☎58・2111 (内線2504)

近年、高齢運転者による交通事故が増加傾向にあることから、ドライブレコーダーを活用した交通安全教室を開催しました。

この教室では、あらかじめ5人の高齢者の方にモニターとなってもらい、ドライブレコーダーでそれぞれの運転の様子を10日間記録。この録画した映像を観ながら、正しい運転方法や、マナーの再確認を行いました。

参加者からは、「実際の運転映像を見ることで、自分たちの



説明に聞き入る参加者の皆さん



お知らせ
問 新春の集いを開催しました
伊奈庁舎秘書広報課
☎58・2111 (内線1104)

市新春の集い世話人会（代表：山野井周一 商工会会長）が主催する「つくばみらい市新春の集い」が1月14日、茨城ゴルフ倶楽部で開催されました。

この日は、市内各界で活躍される方々および市に関係の深い方々が一堂に会し、まちづくりに関する意見交換をするなど、親睦を深めました。

小田川市長は今年のまちづくりを表した漢字「挑」を披露。「行政の既存概念を打ち破り、新たなことに挑戦していきたい」とあいさつし、さらなる市勢発展を誓いました。

当日は「林蔵大鼓保存会」の皆さんによる勇壮な和太鼓演奏が披露されるなど、新春を祝う華やかな会となりました。



「新春の集い」会場内の様子